

EU Indicators

発表日: 2019年2月21日(木)

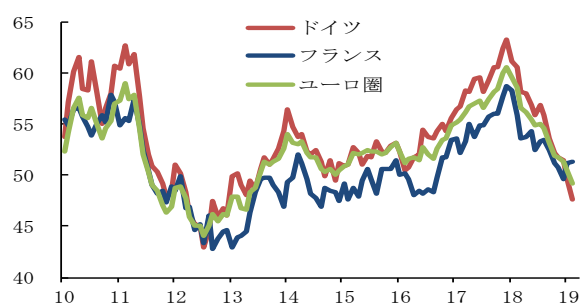
欧州経済指標コメント: 2月ユーロ圏PMI速報

～一段の落ち込みは回避したが…～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

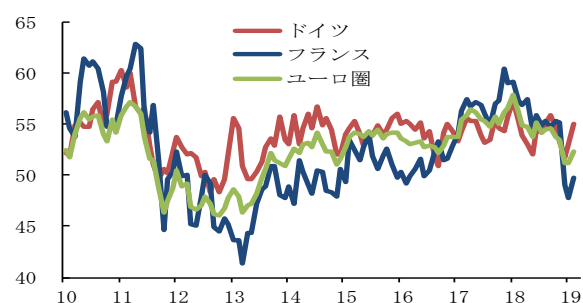
- 2月のユーロ圏のPMI総合指数の速報値は51.4（前月は51.0）と6ヶ月振りに前月から改善モメンタムが加速した。内訳は、製造業が49.2（前月は50.5）と7ヶ月連続で前月から低下し、2013年6月以来となる好不況の分岐点（50）割れを記録した一方、サービス業（活動指数）が52.3（前月は51.2）と前月から改善モメンタムが加速し、全体の計数を押し上げた。同指数の水準は、ユーロ圏の実質GDP成長率が前期比+0.1%ちょっと、ドイツが同+0.2%程度、フランスがゼロないし小幅マイナス成長に相当するとのこと（発表元のIHS Markit）。
- 速報段階で入手可能な国別・業種別の動向は、ドイツで製造業の悪化モメンタムが加速した一方、サービス業の改善加速がこれを相殺、フランスで製造業がほぼ横這いのなか、サービス業の悪化モメンタム縮小が全体の落ち込み緩和につながった。過去数ヶ月のフランスのサービス業の落ち込みは、黄色いベスト運動の影響にしては過大な印象があったが、今月はやや持ち直した。ドイツは製造業の不振とサービス業堅調のコントラストが改めて鮮明に。公表数値から計算したその他ユーロ圏は、製造業が50割れに転落、サービス業の改善モメンタムが鈍化した模様。
- ユーロ圏の製造業PMIの構成項目は、生産が2013年6月以来の50割れ、新規受注の悪化幅が一段と加速。サービス業は活動指数と新規受注がともに持ち直した。雇用判断は、製造業が前月から横這い、サービス業が改善と底堅さを保っている。一段の悪化を免れたとは言え、反発は弱い。製造業部門の落ち込みがサービス業活動や雇用判断に影響し始めないかが今後の焦点となる。

■ユーロ圏：製造業PMI



出所：IHS Markit

■ユーロ圏：サービス業PMI



出所：IHS Markit

■購買担当者指数（PMI、季節調整済み）

		2018				2019											
		1Q	2Q	3Q	4Q	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
ユーロ圏	総合産出指数	57.0	54.7	54.3	52.3	54.1	54.9	54.3	54.5	54.1	53.1	52.7	51.1	51.0	51.4		
	製造業購買担当者指数	58.2	55.6	54.3	51.7	55.5	54.9	55.1	54.6	53.2	52.0	51.8	51.4	50.5	49.2		
	サービス業業況指数	56.4	54.5	54.4	52.8	53.8	55.2	54.2	54.4	54.7	53.7	53.4	51.2	51.2	52.3		
ドイツ	総合産出指数	57.2	54.2	55.2	52.4	53.4	54.8	55.0	55.6	55.0	53.4	52.3	51.6	52.1	52.7		
	製造業購買担当者指数	60.0	57.0	55.5	51.8	56.9	55.9	56.9	55.9	53.7	52.2	51.8	51.5	49.7	47.6		
	サービス業業況指数	55.5	53.2	55.0	53.3	52.1	54.5	54.1	55.0	55.9	54.7	53.3	51.8	53.0	55.1		
フランス	総合産出指数	57.7	55.4	54.4	52.3	54.2	55.0	54.4	54.9	54.0	54.1	54.2	48.7	48.2	49.9		
	製造業購買担当者指数	56.0	53.6	53.1	50.6	54.4	52.5	53.3	53.5	52.5	51.2	50.8	49.7	51.2	51.4		
	サービス業業況指数	57.8	55.9	55.0	53.2	54.3	55.9	54.9	55.4	54.8	55.3	55.1	49.0	47.8	49.8		

出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

